

O I P E

DEC 29 2003

466/1/003
PATENT APPLICATION

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

APPLICANTS: Hiroyuki SUZUKI et al ART UNIT:

SERIAL NO.: 10/693,406

FILED : OCTOBER 24, 2003

FOR : A BOARD PROCESSING UNIT

Certificate of Mailing Under 37 CFR 1.8

I hereby certify that this correspondence is being deposited with the United States Postal Service with sufficient postage as first class mail in an envelope addressed to COMMISSIONER FOR PATENTS, P.O. BOX 1450, ALEXANDRIA, VA 22313-1450 on DECEMBER 24, 2003.

Richard M. Goldberg
(Name of Registered Representative
and person mailing)

Richard M. Goldberg
(Signature and Date)

2003

PETITION FOR GRANT OF PRIORITY UNDER 35 U.S.C. 119

Commissioner for Patents
P.O. Box 1450
Alexandria, VA 22313-1450

Sir:

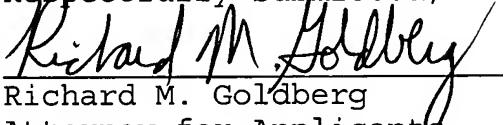
Applicants hereby petition for grant of priority of the present application on the basis of the following prior filed foreign application:

<u>COUNTRY</u>	<u>SERIAL NO.</u>	<u>FILING DATE</u>
JAPAN	2003-196488	JULY 14, 2003

To perfect Applicants' claim to priority, a certified copy of the above listed prior filed application is enclosed.

Acknowledgment of Applicants' perfection of claim to
Priority is accordingly requested.

Respectfully submitted,


Richard M. Goldberg
Attorney for Applicants
Registration No. 28,215

25 East Salem Street
Suite 419
Hackensack, New Jersey 07601
TEL (201) 343-7775
FAX (201) 488-3884

日本国特許庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出願年月日 2003年 7月14日
Date of Application:

出願番号 特願2003-196488
Application Number:

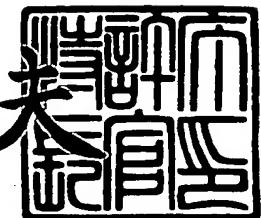
[ST. 10/C] : [JP 2003-196488]

出願人 株式会社平安コーポレーション
Applicant(s):

2003年12月 9日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

今井康夫



【書類名】 特許願

【整理番号】 1860

【あて先】 特許庁長官 殿

【国際特許分類】 B23C 3/00

【発明者】

【住所又は居所】 静岡県浜松市三島町1418番地 株式会社平安コーポレーション内

【氏名】 鈴木 啓由

【発明者】

【住所又は居所】 静岡県浜松市三島町1418番地 株式会社平安コーポレーション内

【氏名】 久保田 広利

【発明者】

【住所又は居所】 静岡県浜松市三島町1418番地 株式会社平安コーポレーション内

【氏名】 山内 芳幸

【特許出願人】

【識別番号】 000154624

【氏名又は名称】 株式会社平安コーポレーション

【代理人】

【識別番号】 100077045

【氏名又は名称】 鈴木 和夫

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 000354

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 被加工板の加工装置

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 両端部の支持台にそれぞれ支持された大径のプーリーと、該プーリーに自由に回転可能に掛けられた搬送ベルトと、該搬送ベルトの両側部に平行にそれぞれ装着されたネジ軸と、該それぞれのネジ軸に固着されたプーリーに掛けられたベルトによって前記ネジ軸をそれぞれ回転するサーボモータと、前記ネジ軸に係合されたボスに固着された移動部材と、該移動部材に装着されたシリンダを下降して前記搬送ベルトを挟持する挟持部材と、前記搬送ベルトの上部に装着されて上下シリンダにより下降して被加工板を押える抑えローラとからなり、前記移動部材と前記挟持部材で前記搬送ベルトの両側部を挟持し、前記サーボモータの駆動により前記搬送ベルトを移動して、前記搬送ベルトに載置された被加工板を位置決め駆動して、加工装置で前記被加工板を加工することを特徴とする被加工板の加工装置。

【請求項 2】 前記加工装置は N C ルータを装着していることを特徴とする請求項 1 記載の被加工板の加工装置。

【請求項 3】 前記加工装置は鋸を装着していることを特徴とする請求項 1 記載の被加工板の加工装置。

【請求項 4】 前記加工装置はボーリング装置を装着していることを特徴とする請求項 1 記載の被加工板の加工装置。

【請求項 5】 前記搬送ベルトを支持する前記大径のプーリーの一方に前記搬送ベルトを駆動するモータを装着することを特徴とする請求項 1 記載の被加工板の加工装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、搬送ベルトを挟持部材で挟持し、挟持部材を位置決め移動することによって搬送ベルトを位置決め移動し、搬送ベルトに載置した被加工板を位置決め移動する被加工板の加工装置に関するものである。

【0002】

【従来の技術】

従来、この種の加工装置として、図6に示すように、第1のサーボモータ1で回転される第1の上部コンベア2と、第2のサーボモータ3で回転される第2の上部コンベア4と、第1の上部コンベア2に対向して配置され、第3のサーボモータ5で回転される第1の下部コンベア6と、第2の上部コンベア4に対向して配置され、第4のサーボモータ7が回転される第2の下部コンベア8が配置され、第1、第2、第3、第4のサーボモータ1、3、5、7は同期して回転され、第1、第2の上部コンベア2、4の間の上部にNCルータ9のヘッド10が装着され、ヘッド10の加工工具10aは第1、第2の上部コンベア2、4と第1、第2の下部コンベア6、8の間を通って加工するように構成した治具レス加工装置を提案した（特願2002-180827号参照）。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、このような治具レス加工装置では、第1、第2、第3、第4のサーボモータ1、3、5、7は互いに同期しているが、第1の上部コンベア2と第1の下部コンベア6及び第2の上部コンベア4と第2の下部コンベア8で被加工板を挟持して位置決め加工しているが、第1の上部コンベア2と第1の下を位置決め移動している間に、それぞれのコンベア間でずれが生じて、被加工板の加工精度が少し悪いという問題があった。

【0004】

【課題を解決するための手段】

本発明は、両端部の支持台にそれぞれ支持された大径のプーリーと、該プーリーに自由に回転可能に掛けられた搬送ベルトと、該搬送ベルトの両側部に平行にそれぞれ装着されたネジ軸と、該それぞれのネジ軸に固着されたプーリーに掛けられたベルトによって前記ネジ軸をそれぞれ回転するサーボモータと、前記ネジ軸に係合されたボスに固着された移動部材と、該移動部材に装着されたシリンダを下降して前記搬送ベルトを挟持する挟持部材と、前記搬送ベルトの上部に装着されて上下シリンダにより下降して被加工板を押える押えローラとからなり、前

記移動部材と前記挟持部材で前記搬送ベルトの両側部を挟持し、前記サーボモータの駆動により前記搬送ベルトを移動して、前記搬送ベルトに載置された被加工板を位置決め駆動して、加工装置で前記被加工板を加工するものであり、又、前記加工部はNCルータであり、さらに、前記加工装置は鋸を装着しているものであり、又、前記加工装置はボーリング装置を装着しているものであり、さらに、前記搬送ベルトを支持する前記大径のプーリーの少なくとも一方に前記搬送ベルトを駆動するモータを装着するものである。

【0005】

【発明の実施の形態】

本発明では、被加工板を搬送する搬送ベルトの両側を移動部材と挟持部材で挟持し、移動部材と挟持部材をそれぞれ同期するサーボモータで移動し、被加工板は抑えローラで搬送ベルトの上に抑えられて搬送するように構成することにより、搬送ベルトの移動時に搬送ベルトのずれが全く生じないので、被加工板はそれが全く生じることなく加工される。

【0006】

【実施例】

図1は本発明の実施例の被加工板の加工装置の正面図、図2は図1の被加工板の加工装置の一部断面正面図、図3は図1の被加工板の加工装置の平面図、図4は図1の被加工板の加工装置の側面図、図5は図1の被加工板の加工装置の一部の拡大図で、図4のベース台11の一端部に端部支持台12が着され、この端部支持台12に軸受け13が装着され、又、軸受け13に大径のプーリー14の回転軸が回動自在に装着され、又、ベース台11の他端に端部支持台15が装着され、この端部支持台15に軸受け16が装着され、この軸受け16に大径のプーリー17の回転軸が回動自在に装着され、この大径のプーリー17の回転軸にモータ18が連結され、大径のプーリー14、17の間に搬送ベルト19が掛けられている。

【0007】

又、搬送ベルト19の外側の側部支持台20、21にそれぞれネジ軸22、23が軸受け24、25で支持され、このネジ軸22、23にプーリー26、27

が固着され、このプーリー26、27に掛けられたベルト28、29はそれぞれベース台11に装着されたサーボモータ30、31のプーリーに掛けられ、又、ネジ軸22、23にボス32、33が係合され、これらのボス32、33は先端が挟持部に構成された移動部材34、35に固着され、この移動部材34、35の下部にペアリング36、37が装着され、このペアリング36、37はレール38、39に係合され、移動部材34、35の上にそれぞれ複数個のシリンダ40、41が装着され、このシリンダ40、41の駆動軸40a、41aに挟持部材42、43がそれぞれ固着されている。

【0008】

さらに、側部支持台20、21の突出部20a、21aに複数個の上下シリンダ44、45が装着され、この上下シリンダ44、45の駆動軸44a、45aにそれぞれ軸受け46、47が装着され、これらの軸受け46、47に押えローラ48、49が回動自在に支持され、この押えローラ48、49は搬送ベルト19の上部に装着され、又、側部支持台20、21の外側のベース台11に支柱50、51が装着され、この支柱50、51に横梁52が固着され、この横梁52に沿ってNCルータ53が移動可能に装着され、NCルータ53のヘッド54に装着された加工工具55は押えローラ48、49の間を通って、被加工板56を加工するように構成されている。

【0009】

このように構成された本実施例の被加工板の加工装置では、搬送ベルト19の上に被加工板56が載置されると、図4の左側に待機していた移動部材34、35に固着されたボス32、33は、サーボモータ30、31を同期回転でネジ軸22、23を回転することにより移動され、移動部材34、35の先端が図4の右側に移動すると、サーボモータ30、31が停止され、そこで、シリンダ40、41を駆動することにより、駆動軸40a、41aに固着されている挟持部材42、43が下降し、搬送ベルト19の両側端部を挟持するので、サーボモータ30、31を逆転して、搬送ベルト19に載置された被加工板56を移動し、被加工板56が押えローラ48、49の下方に送られると、上下シリンダ44、45が駆動されて押えローラ48、49を下降させ、被加工板56を挟持すること

により、NCルータ53のヘッド54が図1の左右に移動し、又、サーボモータ30、31でボス32、33を図1の前後に移動して加工工具55で被加工板56に所定の加工を施すことができ、所定の加工が終了した後、被加工板56はサーボモータ30、31の回転により、図4で搬送ベルト19の左端部に搬送されるが、次の被加工板56が搬送ベルト19の上に載置された場合は、大径のプーリー17の回転軸に連結されたモータ18を駆動して、被加工板56を排出するようしている。

【0010】

本実施例は、このように、大径のプーリー14、17に掛けられた搬送ベルト19をサーボモータ30、31の同期回転によりネジ軸22、23を回転してボス32、33を移動して移動部材34、35を移動するとともに、移動部材34、35に装着されたシリンダ40、41を駆動することにより、移動部材34、35と挟持部材42、43で搬送ベルト19の両側を挟持して移動するので、サーボモータ30、31の位置決め駆動と搬送ベルト19の駆動がずれることが無く、搬送ベルト19の上に載置され、上下シリンダ44、45の下降により抑えローラ48、49で抑えられた被加工板56は加工位置がずれることなく加工することができる。

【0011】

なお、上記実施例では、被加工板56をNCルータ53で加工する実施例を示したが、NCルータ以外の加工装置、例えば鋸を装着した装置で加工する場合にも使用することができ、又、ボーリングを装着した装置で加工する場合に使用することができる。

【0012】

【発明の効果】

以上説明したように、本発明の被加工板の加工装置では、被加工板を搬送する搬送ベルトの両側を移動部材と挟持部材で挟持し、移動部材と挟持部材をそれぞれ同期するサーボモータで移動し、加工位置で被加工板は抑えローラで搬送ベルトの上に抑えられて搬送するように構成することにより、搬送ベルトの移動時に搬送ベルトのずれが全く生じないので、被加工板は搬送ベルトとともに移動する

ことにより、それが全く生じることなく加工されるという利点がある。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

図 1 は本発明の実施例の被加工板の加工装置の正面図である。

【図 2】

図 2 は図 1 の被加工板の加工装置の一部断面正面図である。

【図 3】

図 3 は図 1 の被加工板の加工装置の平面図である。

【図 4】

図 4 は図 1 の被加工板の加工装置の側面図である。

【図 5】

図 5 は図 1 の被加工板の加工装置の一部拡大図である。

【図 6】

図 6 は従来の加工装置の側面図である。

【 号の説明】

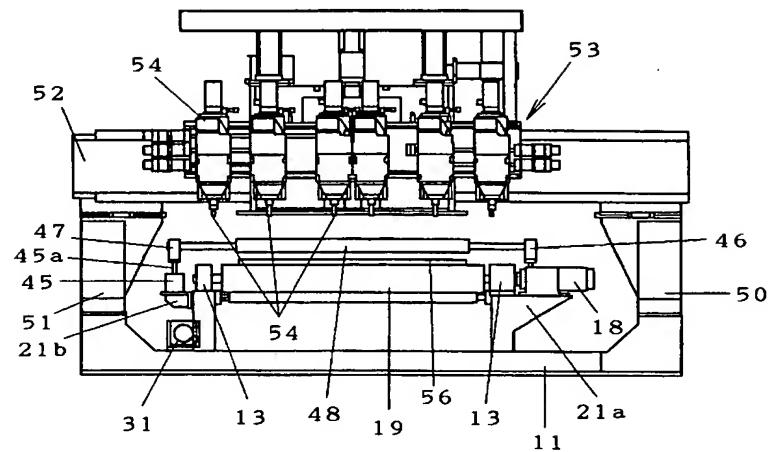
1 1	ベース台
1 2、 1 5	端部支持台
1 3、 1 6	軸受け
1 4、 1 7	大径のプーリー 1 4
1 8	モータ
1 9	搬送ベルト
2 0、 2 1	側部支持台
2 2、 2 3	ネジ軸
2 4、 2 5	軸受け
2 6、 2 7	プーリー
2 8、 2 9	ベルト
3 0、 3 1	サーボモータ
3 2、 3 3	ボス
3 4、 3 5	移動部材

3 6、3 7	ペアリング
3 8、3 9	レール
4 0、4 1	シリンド
4 2、4 3	挟持部材
4 4、4 5	上下シリンド
4 6、4 7	軸受け
4 8、4 9	押えローラ
5 0、5 1	支柱
5 2	横梁
5 3	NCルータ
5 4	ヘッド
5 5	加工具
5 6	被加工板

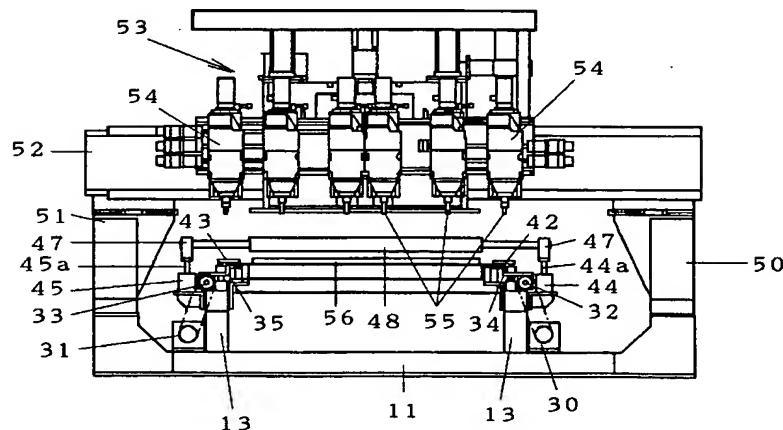
【書類名】

図面

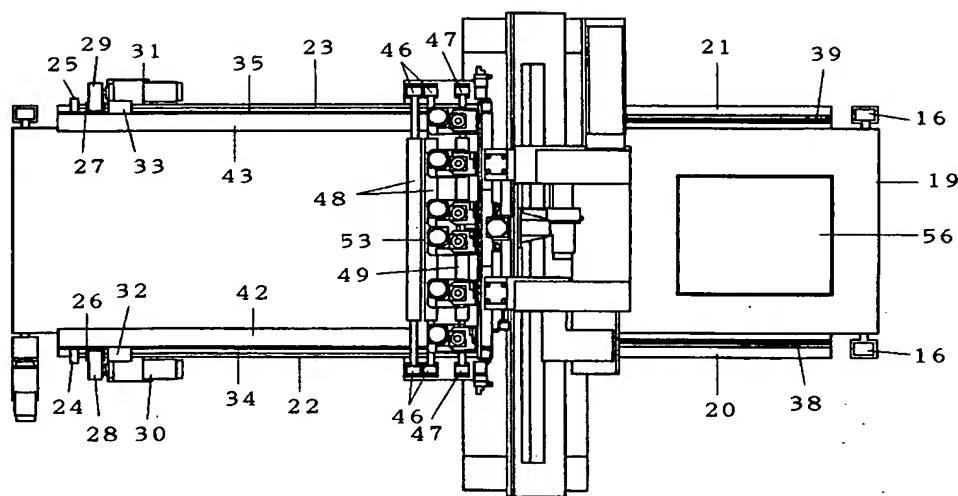
【図 1】



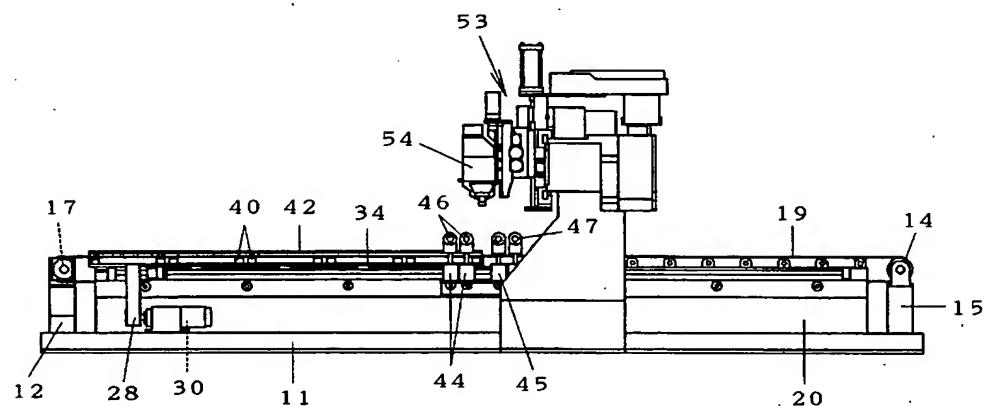
【図 2】



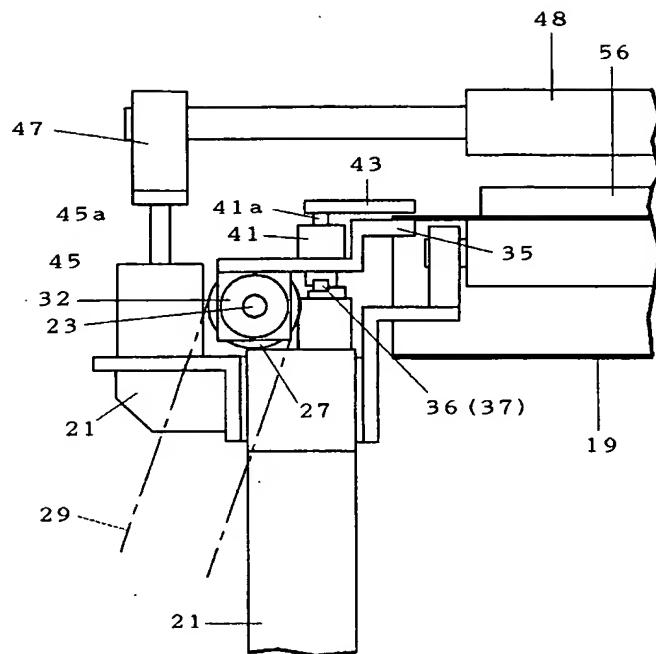
【図3】



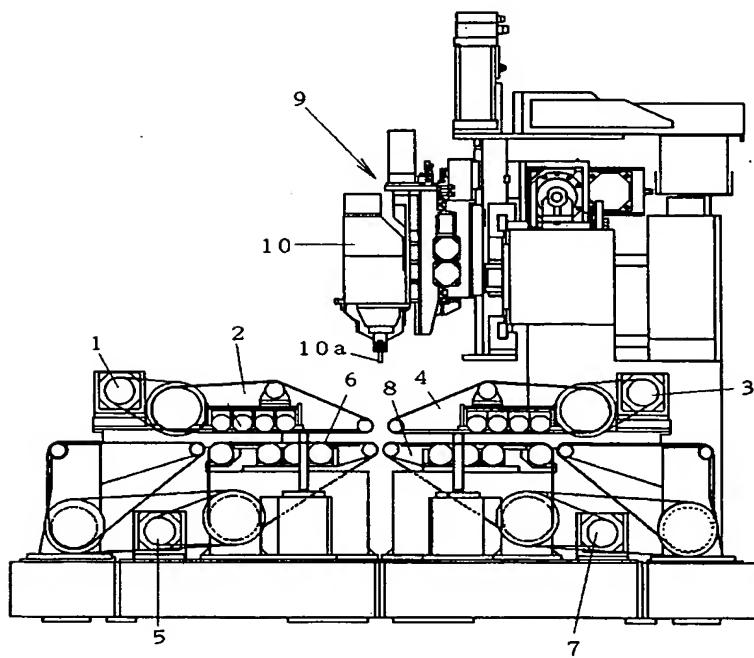
【図4】



【図5】



【図6】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 治具レス加工装置では、第1、第2、第3、第4のサーボモータ1、3、5、7は互いに同期しているが、第1の上部コンベア2と第1の下部コンベア6及び第2の上部コンベア4と第2の下部コンベア8で被加工板を挟持して位置決め加工しているが、第1の上部コンベア2と第1の下を位置決め移動している間に、それぞれのコンベア間でずれが生じて、被加工板の加工精度が少し悪いという問題があった。

【解決手段】 被加工板を搬送する搬送ベルトの両側を移動部材と挟持部材で挟持し、移動部材と挟持部材をそれぞれ同期するサーボモータで移動し、被加工板は押えローラで搬送ベルトの上に押えられて搬送するように構成することにより、搬送ベルトの移動時に搬送ベルトのずれが全く生じないので、被加工板はずれが全く生じることなく加工される。

【選択図】 図1

認定・付加情報

特許出願の番号	特願2003-196488
受付番号	50301162505
書類名	特許願
担当官	第三担当上席 0092
作成日	平成15年 7月15日

<認定情報・付加情報>

【提出日】	平成15年 7月14日
-------	-------------

特願2003-196488

出願人履歴情報

識別番号 [000154624]

1. 変更年月日 1990年 8月11日

[変更理由] 新規登録

住 所 静岡県浜松市三島町1418番地
氏 名 株式会社平安コーポレーション